高レベル放射性廃棄物の 最終処分について _ロ、 目次

発刊に寄せて2
日本学術会議会長 大西 隆
高レベル放射性廃棄物の処分をめぐって
原子力委員会への回答を中心に
日本学術会議第一部会員・社会学委員会委員長、東京工業大学名誉教授・統計数理研究所客員教授 今田高俊
高レベル放射性廃棄物の
最終処分への取り組みについて27
前原子力委員会委員長代理、長崎大学核兵器廃絶研究センター副センター長・教授 鈴木達治郎
高レベル放射性廃棄物の地層処分について
地質環境の長期安定性を中心として
原子力発電環境整備機構技術顧問 武田精悦
変動帯の日本列島で高レベル放射性廃棄物地層処分の
適地を選定できるか:地震現象の観点から
神戸大学名誉教授、元国会福島原子力発電所事故調查委員会委員 石橋克彦
国策、市民、科学者
―学術会議の「回答」を生かすために— 79
NPO法人原子力資料情報室共同代表 山口幸夫
高レベル放射性廃棄物問題の取り組み態勢について、
考えるべき論点 89
日本学術会議連携会員、法政大学社会学部教授、舩橋・晴俊

	高レベル放射性廃棄物の地層処分について
99	―地質環境の長期安定性の観点から―
	日本学術会議連携会員、京都大学防災研究所教授 千木良雅弘
107	高レベル廃棄物処分における学術の役割
	日本学術会議第三部会員、(公財)地球環境産業技術研究機構(RITE)理事・研究所長、東京大学名誉教授
HARWIT	口本子側 五酸先二叩云貝、 (ム粉) セル県児庄未以側別九食情 (ロコこ) 吐事・別九州氏、米ホハナロ言名以
	高レベル放射性廃棄物の処分について、
	会場からの質問・意見と最終処分の進め方
115	
	日本学術会議連携会員、(公社)日本アイソトープ協会専務理事 柴田徳思
	⇔ Ver √N
139	◎資料
	1. 原子力委員会委員長からの審議依頼に対する回答
	・日本学術会議会長からの回答(鏡)
	・回答本文
	2. 原子力委員会委員長からの審議依頼

※執筆者の所属・略歴は、平成26年9月末日現在のものです。